

【県民大会はいつも激戦!!】

10/19、10/20に渡り香取市で県民大会が開催され、市川市からも男女各代表チームが参加しました。結果は、県協会ホームページにアップされているとおりですが、ここでは両日のNメンバーの活躍について、当日の様子を踏まえつつ、報告します。
(Dはダブルス、Sがシングル)

初日は男女ともベスト8決めまで。昨年度の市川市チームの成績は、男女ともベスト8でした。まずは初日を勝って、翌日の準々決勝へ進むことが大切です。

(市川市は、男女とも2回戦からの出場)



[開会式の様子]

[応援団も駆けつけました!]



[まもなく試合開始]

男子

初日の対戦相手は、1回戦で成田市を破った「匝瑳市」でした。

【対匝瑳市（2回戦）】

1Dは、佐々木・北村組。普段から気心知れている2人。コンビネーションも滑らかです、特に、北村選手は、令和5年度の県総合ダブルスチャンピオン。Nチームでも別格の実力者です。破壊力のあるスマッシュが魅力ですが、実は堅実すぎて相手の攻撃が全く効かない、レベルの高いレシーブも光ります。（余談ですが、YouTubeでも彼の試合を観ることが出来ます。ぜひ一度、彼のファンタスティック？な試合を観ていただければと思います。）結果的に、終始リードし続ける試合運びで、2-0で快勝でした。

続くSは、押しも押されぬNチームのシングルエース、八巻選手。1D同様、躍動感溢れるプレーを披露し、安心して見ていられました。順当に勝利を手にし、この時点でチームとしては2-0の勝利。

勝敗は決しましたが、初日は2Dも行い、折原・鍋島組が登場。攻撃力が持ち味の折原選手と、安定したレシーブが持ち味の鍋島選手。攻守とも質高く、この試合も快勝。翌日の準々決勝へ、順当に駒を進めることが出来ました。

[初戦、佐々木・北村組の登場]



[佐々木選手のスマッシュ!!]

[シングルは八巻選手]



[2Dは折原・鍋島組の登場]

[3-0の完勝です!!]



【対野田市（準々決勝）】

2日目の対戦相手は、強豪第2シードの「野田市」。令和4年度にも対戦し、1-2で惜敗した相手。多くの全国大会出場経験選手がいるのは勿論のこと、インカレチャンピオン、元S/Jリーガーも選手に名を連ね、今大会一タレントを擁する、高い実力を誇る断トツの優勝候補です。

1Dには、昨日同様、佐々木・北村組をオーダー。昨日の活躍からの勢い十分、最も勝利が期待出来るペアを送り出しました。野田市には絶対的なS強者がいるため、オーダーには悩みました。1Dと2D、オーダーをひっくり返す“賭け”も考えましたが、エースを使わずして終わることは避けようと、1Dで勝負を挑みました。対する野田市も、やはり相当の強さ。特に、ペアの片方は北村選手の普段のパートナーでもあり、お互いに手の内を知り尽くしています。序盤から、攻守に高いレベルのプレーが展開され、一進一退。手に汗握る試合展開となりました。ファイナルゲームにまで及び、最後は20-22と非常に惜しい負け方でしたが、とても素晴らしい試合でした!!

続くSには八巻選手の登場。相手は、やはりインカレチャンピオンの出番。必死に食い下がり、シューズも壊れるほどの激戦を展開。一進一退の非常に高いレベルの試合展開を繰り広げます。(ちなみに、この選手とは、2年前にも対戦して間近で見っていますが、より一層の成長を感じました。いわゆる「大人のプレー」が非常に進化しているのを目の当たりにしました。)最終的に、ストレートで負けはしましたが、大健闘でした。

なお、2Dには、福田・村上組を予定しており、大学の先輩後輩ペアの活躍も楽しみにしていましたが、それはまたの機会に持ち越しとなりました。

チームとしての結果は、0-2で敗退。昨年に引き続き、惜しくもベスト8で終了しました。

女子

初日の女子の対戦相手は、「君津市」。お互いに、2回戦からの登場です。

【対君津市（2回戦）】

1Dは、長野・村上組。女子Nチームのエースペアです。相手をスピードと球回しで上回る市川市ペア。攻守ともに安定しており、2-0で快勝でした。



[長野・村上組、勝利!!]

続くSは、大澤選手。市川ジュニア出身で、今は埼玉県**の強豪校**で活躍中。今後の市川市を背負うことのできる、期待のホープです。県民大会には初出場ですが、大舞台には慣れていることもあり、落ち着いた試合運びと軽やかなフットワークで、2-0で勝利。男子同様、ベスト8を決めました。



[躍動!!
大澤選手]



[チームの勝利に貢献、佐々木・入山組]



[遠景ですが、いい笑顔~]

初日は2Dも行い、佐々木・入山組が登場。入山選手も、県民大会のデビュー戦。緊張してもおかしくはない、独特の雰囲気にも負けず、しっかり勝ち切ってくれました。

女子も、翌日の準々決勝へ、順当に駒を進めることが出来ました。

【対野田市（準々決勝）】

2日目の対戦相手は、女子も「野田市」。男子同様、インハイ、インカレ出場に加え、入賞経験もある、S、Dともレベルの高い選手を擁する、優勝候補筆頭の第1シードとの対戦となりました。

オーダーは、昨日と同様での挑戦。1Dに長野・村上組の出場です。オーダーを崩すことなく、最初からがっぴり四つの勝負を挑みました。対する野田市は、男性顔負けの攻撃力と、高度なレベルでの球回しが光る強者ペア。序盤から、県民大会ならではの、質の高い試合が展開されました。結果は、全力を尽くしましたが、攻撃力で野田市ペアが上回り、残念ながら0-2で敗退。

続くSには、昨日の勢いそのままに大澤選手の登場。相手はインカレでの実績も有する強敵。フットワークも軽く、エースショットがノータッチではなかなか決まらないイメージ。レベルの高いラリーのやり取りが繰り返されます。1ゲームは取られたものの、2ゲームはセッティングの末に取り返し、勝負の行方はファイナルへ。大澤選手も、スタミナが切れることなく要所で素晴らしいショットを決めていきますが、ファイナルでギアを一段上げた相手選手に軍配が上がり、1-2で敗退。

これでチームとしては、0-2で敗退が決定。2Dには、昨日に引き続き、佐々木・入山組を予定していましたが、出番の前に勝敗が決しました。

チームとしての結果は、0-2で敗退。昨年に引き続き、女子も惜しくもベスト8で終了しました。

最終結果は、男女ともベスト8でした。また、男女とも優勝は野田市で、アベック優勝となりました。市川市は、男女とも優勝した野田市に準々決勝で対戦、敗退しただけに、組み合わせの不運もあったかもしれません。

また、前回の成績と比較し、男女とも同一の位置。やはり、ベスト8の壁は高く、特に団体戦では、Sに強い選手がいる場合、オーダーに余裕が出るので、その点の優位さ感じました。

一方で、ベスト8からは、どのチームも極端な差は無いものと考えており、その差を縮めていくことも可能だと思っています。

なお、今年度は、協会の千葉理事の旗の下、応援団を結成していただき、遠路にも関わらず、2日間、多くの方に応援していただきました。声援は、選手には大きな力となりました。本当に有難うございました。

県民大会での市川市は、「地元から応援団が来る」「応援が盛り上がってる」といった風景が、『伝統』として今後、定着していけばいいなど、改めて感じた次第です。

選手の奮闘もあり、男女とも翌年度のシード枠を確保することは出来ましたが、市川市の県内における人口比を鑑みると、常にベスト4以上を本来の立ち位置と考えて、大会に臨んでいます。

県民大会では、シードされた市が、1回戦から前年度シード落ちしたチームと対戦し、逆に敗退している例も珍しくありません。会場にいと、一発勝負のトーナメント戦の怖さを痛感します。

今後も、年末に松戸市で開催される「アザレア杯（ミックス団体戦）」、令和7年に予定する「市川 Special 大会」「郡市リーグ大会」で良い成績が残せるよう、チーム一丸となって頑張っていきます。

特に、「市川 Special 大会」は、市川市協会主催により塩浜体育館にて開催されます。県内各市等の代表チームが集い、さながら「ミニ県民大会」のレベルでの試合が繰り広げられます。地元・市川市で県トップレベルの試合を観ることが出来ますので、市川市チームの応援がてら、ぜひ観戦にお越しください!!

—今後とも引き続き、ご声援の程、宜しくお願ひいたします—



〔応援団とともに、記念撮影♪〕

